



朝，階段を下りて，初めて出会ったのは野良猫。

どうせ言葉は通じないので，「おはよう」は言わない。

次に出会ったのは，眠そうなサラリーマン。

知らない人なので，「おはよう」は言わない。

バスに乗り，見慣れた顔。

駅で電車を待つただけけれど，友達は音楽で耳を塞いでいる。

「今日のテストさ」と話しかけるけれど，「おはよう」は言わない。

学校について先生に「おはようございます」と言う。

返事はいつもの通り「おう，遅いぞ」だってさ。

好きな子があそこに座っている。

言いたいけれど，恥ずかしい。

朝だからいいのだ。

どうせ帰りに「バイバイ，またね」って言うからいいのだ。

昼は「こんにちは」を使う。

だから、「おはよう」の出番は全くない。

やることをやって、出すものを出して、そして次の作業に取りかかる。

一息入れて、コーヒーを飲む時間もない。

忙しいのだ。

だから、「おはよう」などと言っている暇はない。

もう、大人なのだから、嫌なこともやらなければならない。

本質では無いことも、欺瞞も、偽善も、ウソも何もかも飲み込んで。

ただひたすらに出来ることをするしか無い。

だから、たまには昼にだって「おはよう」と言うかもしれない。

昼まで寝ていたあの子が、「おはよう、けんくん」だとさ。

夜遅くまで遊んでいたのだろうか。

いい気なもんだ、かわいい子。

朝から晩まで忙しい。

特に、今週はまとめの時期なので、あれもこれもどれもやる必要がある。

誰かは言うのだ。

「君は時間の管理がなってないんだよ」だそうさ。

誰かは自慢するのだ。

「この前、昇進祝いに車を買ったんだ」だそうさ。

誰かは結婚して、子どもも生まれて、給料も上がった。

私はただ黙っている。

腐らずに努力すれば、何とかなるはずと。

上司に怒られてへこんでも、女の子にフラれて泣いても、風邪で調子が悪くても。

夜に言っても、誰も返してくれない。

後、9時間ほど待って言えば状況は違うはずだ。

選べるならば、あの子に会って言いたいよ。

さようなら

さようなら， さようなら， また会う日まで。
息子も娘も， 妻のあの子ども。

お先に失礼。

また， 会いましょう。

今日のおはよう， ありがとう。

おお， カラスが鳴いてらー。